

<校務利用>⑤「生成AIを活用した校長室だよりの文案作成」

毎月頭を悩ましていた朝礼講話&便り作成

校長先生も活用！

あくまでAI、活用には工夫が必要

「いじめ」についての記事を作成中...

「学校でいじめはなぜ起きるの?」と聞いてみたが...

「いじめ」というワードを使わず、聞き方を工夫することで、頼れる相棒に

「友達と仲良く過ごすためには?」

「いじめ」がなぜ起きるのかはまだ学習中であり、お手伝いできません。。。という返事。



充実した冬休みを 校長 佐藤 豊
 師走を迎え、寒さが一段と厳しくなってきました。本校の行動指針「磨く」「挑む」「思いやる」を心がけ、教育活動を進めてまいりました。生徒たちは、授業はもちろん学校行事や部活動などを通して、大きく成長したと思います。しかし、まだまだ解決すべき課題も多く、よりよい学校づくりに、保護者や地域の皆様のご協力をいただかなければなりません。今後ともよろしくお願いたします。
 12月は、新年度に向けた準備をするために、授業・家庭学習・部活動など1年間を振り返る時期です。また、自分自身の生活や行動を充実させる時期でもあります。3年生は、自分の決めた進路希望が実現するように精一杯努力してください。1、2年生は、これからの第九中学校の『顔』であることを自覚し、第九中学校のよさを伸ばし、よりよい学校づくりに取り組んでほしいと思います。生徒の皆さん、どうか充実した冬休みを過ごすようにしてください。

笑顔と学びの体験活動プロジェクト
 車いすテニス日本代表のバイオニア 齋田 悟司選手がやってきた!!
 コロナ禍にある子供たちに多様な体験活動を提供することで、笑顔を取り戻し、豊かな心を育む目的で、東京都と多様な民間運営事業者がタッグを組んで始まった笑顔と学びの体験活動プロジェクト。今回は、車いすテニス日本代表のバイオニア、齋田 悟司選手に来ていただきました。齋田 悟司選手は12歳のとき病氣により左下股関節より切断、14歳から車いすテニスを始め、1996年アトランタでパラリンピック初出場を果たしました。その後、より本格的に競技として車いすテニスに取り組み、海外ツアーを積極的に転戦するなど、日本国内の車いすテニス界を牽引する存在となりました。2003年、2007年に「車いすテニス世界国別選手権」で優勝。パラリンピックはアトランタからリオまで、6大会連続で出場されました。今回の講演では、男子ダブルスにおいてアテネで金、北京・リオで銅という輝かしい結果に辿り着くまでの努力や体験談を聞かせていただき、さらにはデモンストレーションと代表生徒との車椅子を使用しているのプレイで、体育館は大盛り上がりでした。お話では、「夢をもち、計画を立て、努力し続ける」ことの大切について、中学生たちへの温かいメッセージをいただき、最後に全校生徒と写真撮影をしました。終わった後も齋田 悟司選手のもとに生徒たちが次々に集まり、質問や握手やお礼が止まらなかった。齋田 悟司選手、本当にありがとうございました。



たくさんの文例で答えてくれるので助かっています!

